



児童たちのキャッチボールを見守る松山晋也選手(中央)

プロの指導で技術磨く

小中学生
野球教室

中日・松山投手(七戸出身)ら講師に

プロ野球中日の松山晋也投手(23)と七戸町出身、八戸学院大出川らを講師に招いた野球教室が10日、八戸市美保野の八戸学院室内練習場で開かれた。参加した市内の小中学生59人が、最速156キロの直球を武器に、育成契約から一気に1軍の中心選手に飛躍したプロの技術に目を輝かせた。

学校法人光星学院スポーツ局主催。講師は松山選手のほか、いずれも八戸大(当時)出身で、9日に現役引退を表明した元楽天の塩見貴洋投手、元西武外野手の田代将太郎さん。準備運動の後、小学生と中学生に分かれ、キャッチボールや打撃、守備の練習を行った。松山、塩見両選手がキャッチボールの指導に当たり、参加者にステップの踏み方や捕球の仕方を教えた。両選手によるキャッチボールも披露され、松山選手の剛球を目の前で見た子どもたちが歓声を上げていた。

(磯野雄太郎)